

平成30年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立児童センター	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和3年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成25年6月1日	指定回数	2回
施設設置目的	児童に健全な遊びの場を提供し、もって児童の健康を増進し、豊かな情操をはぐくむ。また、相互援助活動を実施する中で、地域の子育て支援の向上を図り、地域活動支援、地域子育て世代の交流の場を提供することを目的とする。		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ野市立東児童センター ふじみ野市福岡1丁目2番5号フクトピア3階 延床面積1,418㎡ 鉄筋鉄骨コンクリート造 ・ふじみ野市立西児童センター ふじみ野市大井中央1丁目1番1号大井総合支所3階 延床面積987.39㎡ 鉄筋鉄骨コンクリート造 		
管理運営の基本方針	児童福祉法等の関係法令を遵守し、十分に理解したうえで、利用者のニーズに対応した事業の充実、利用促進に努め、施設の効用を最大限に発揮し、利用者へのサービス向上を図る。また、地域の関係機関や団体と連携協力し、地域の実情を踏まえた施設運営に努め、遊びを与えるだけでなく、子どもと共に遊び、遊びを通じて子どもの生きる力を養う。		
指定管理者の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な遊びの場を提供することにより、児童の集団及び個別的指導を行い、遊具その他の設備の利用により児童の体力増進を図る。 ・児童に関係のある組織、機関等との連絡に関する業務。 ・自主事業の実施。乳幼児及び児童の健全育成に必要な活動の実施。ファミリー・サポート・センター事業に関する業務。 		

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4:目標値以上の結果で評価できる場合(上記「5」以外)、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合 / 3:業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合 / 2:実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合 / 1:目標値を大きく下回る場合

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	施設の役割や、展開する事業の目的を職員が研修等で理解を深め、創意工夫に基づく効果的な管理運営を図った。 ・公の施設として個人情報の保護や各種法令遵守の徹底、利用者に公平かつ平等の運営、危機管理意識に基づく健全かつ安全な業務執行に努めた。	3
区分	具体的な取組の状況・実績	
市指定事業	①児童の健全な遊びと場の提供 ②施設、遊具等の利用による児童の体力増進に関する事業 ③中高生の居場所づくり ④児童の健全な育成を目的とした講座 ⑤児童の自主活動の支援 ⑥地域子育て支援拠点事業 ⑦児童の遊びと居場所づくりに関する情報の収集及び提供 ⑧子育て世代の交流支援 ⑨ファミリー・サポート・センター事業 ほか	
自主事業	①児童を対象とした講座(フクトピアっ子まつり1,088人、西児童センター夏まつり503人、県民の日お楽しみ会 東児61人 西児206人、バスを利用した工場見学17人、陶芸教室11人等) ②児童の異世代交流(更生保護女性会協力による伝承遊び108人) ③その他(「職場体験、教育実習」などの学生受け入れ東児17人 西児139人、子ども運営委員会東児11人、西児3人、子ども祭り実行委員会東児21人 西児14人、ボランティア体験の受け入れ東児13人 西児11人、ペットボトルキャップ回収活動、出前子育てサロンの協力)	
サービス向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある児童センターの運営を目指し、窓口対応や利用者アンケート、子ども運営委員会を定期的実施し、利用者のニーズを受け止め、利用者からの意見について、職員間で共通理解し、話し合いを行いながら館内でのサービス向上へ繋げた。 ・利用者が心地よく安全・安心に過ごすことができる環境づくりのため、職員はあいさつなどを通して密にコミュニケーションをとりながら丁寧な対応を心掛けた。 ・中高生の居場所づくりとして、夏休み期間中などは、利用しやすい時間帯に夜間開放を行った。 ・ファミリー・サポート・センター活動の中ですべての会員を対象に交流会を実施し、会員同士の関係を深めた。 	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
特記事項(問題等があった場合)		3

3 施設の有効活用

施設利用状況		利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
		幼児	39,000 人	38,686 人	99.8%	99.2%	3
		小学生	50,000 人	44,364 人	89.8%	88.7%	
		中高生	8,200 人	8,449 人	104.3%	103.0%	
		大人	42,000 人	40,082 人	96.5%	95.4%	
		計	139,200 人	131,581 人	95.4%	94.5%	
		(特記事項) H30 利用実績 東児童センター 幼児 16,945人 小学生 22,223人 中高生 3,584人 大人 16,804人 計 59,556人 西児童センター 幼児 21,741人 小学生 22,141人 中高生 4,865人 大人 23,278人 計 72,025人 ファミリー・サポート・センター依頼会員1,096人、両方会員155人、提供会員103人 活動実績4,622件					
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ふじみ野市立児童センター条例第4条に規定する業務 施設の利用許可に関する業務 施設、設備及び物品の維持管理ならびに軽易な修繕に関する業務 埼玉県児童館連絡協議会に関する業務 児童センター運営委員会に関する業務 ファミリー・サポート・センターに関する業務 					
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援拠点事業 親子タイム・ママの輪、スマイル、お話し、育児講座等 小学生対象事業 わくわくタイム、子ども運営委員会、ジャンプ、チャレンジランキング等 全来館者対象事業 わくわくタイム、チャレンジタイム、遊びタイム 中高生対象事業 夜間開館、ボランティアの受け入れ等 特別イベント事業 フクトピアっ子祭り、夏まつり、県民の日お楽しみ会等 					
利用サービス向上の取組		<ul style="list-style-type: none"> ホームページや館内ポスターの掲示、ブログ(西児童センター)や母子モ等を利用したPR活動 定期的な利用者アンケートの実施 施設安全チェックの実施や遊具等の消毒 ファミリー・サポート・センターの会員の交流会(クリスマス会など)で提供会員と依頼会員等の意見交換会を実施し、双方の関係を深めた。 市民の方からの寄附により、東・西児童センターで大型おもちゃを購入した。 東児童センターで頻りに故障していた冷水機を新しく購入した。 					

4 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 両センターにおいてアンケートを2回実施(平成30年5月1日～15日/平成30年11月1日～15日)</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 (実施時期)平成30年5月1日～15日/平成30年11月1日～15日 各館2回実施 (調査方法)窓口にて保護者用・児童用各100枚のアンケートを配布 (回収率) 東児童センター:5月・11月実施 保護者・児童共に100%/西児童センター:5月実施 保護者96%児童96%・11月実施 保護者100%児童100% (調査項目)保護者対象:①住所②子どもの学齢③来館方法④利用頻度⑤行事情報をどこで得たか⑥利用した感想⑦来館して印象⑧職員の対応⑨参加行事の有無・満足度⑩回答者の男女の別 児童対象 :①住所②性別と年齢③利用頻度④小学生向けの事業の認知度、情報取得方法⑤利用した感想⑥参加行事の有無、満足度⑦先生の対応</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 保護者対象アンケート 東児童センター 市内在住87.5%、来館方法 徒歩35.1%、利用回数 週1～2回 51.8%、 利用した感想 満足・やや満足88.5%、職員の対応 満足・やや満足93.0% 西児童センター 市内在住75.6%、来館方法 車52.3%、利用回数 月1～2回 40.2%、 利用した感想 満足・やや満足93.2%、職員の対応 満足・やや満足94.9% 児童対象アンケート 東児童センター 市内在住85.5%、性別 男29.0% 女71.0%、利用児童 小学低学年35.3% 小学高学年45.5% 中学生16.2% 高校生3% 利用した感想 とても楽しかった・楽しかった 86.5%、先生の対応 良い 64.7% 西児童センター 市内在住91.7%、性別 男30.3% 女69.7%、利用児童 小学低学年34.8% 小学高学年46.4% 中学生18.2% 高校生0.6% 利用した感想 とても楽しかった・楽しかった 86.5%、先生の対応 良い 74.1%</p>	
利用者からの評価・要望・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 行事で満足度が高い事業 東児童センター 親子タイム、りんりんリズム、ぼんぼんお話会 など 西児童センター スマイル、はかってみよう、親子タイム など 利用者からの評価 (親子タイム)集団で何かすることで子どもの見れなかった部分がみれた。お友達が出来て本人も母も楽しめた。(りんりんリズム)毎週、親も楽しんでいる。同じ体操が2カ月続くので小さい子でも覚えられて良い子どもが喜んだ。(ぼんぼんお話会)もっと長く聞きたい。遊べて製作も出来て良かった。(スマイル)もっと頻繁にやってほしい。(はかってみよう)幼稚園入園前のよい交流の場でよかった。職員の方が優しく声をかけてくれる。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 ①時間が短い。45分～1時間位やってほしい(親子タイム)。 ②暑い日は毎日でもやってほしい(ママの輪スペシャル・水遊び)。 ③おもちゃの年齢制限をなくしてほしい。 ④はかってみようを月2回に戻してほしい。 ⑤予約したボール、バンパーなどの時間は20分では少ない。 ⑥小さい子用の低いテーブルがあると良い。</p> <p>《対応措置》 ①午前中に2コース実施しているため、時間を長くすることは難しい状況。 ②他の事業との兼ね合いもあるが今後検討する。 ③玩具は安全面・内容の適正などを考慮して設置。また、安心安全に遊んでいただくために、乳幼児向け玩具は保護者の方へ貸出しを行う。 ④平成31年度より、月2回実施に変更。 ⑤多くの人にたくさん遊んでもらう為、20分の時間を設けさせてもらっている。平成31年度からサッカー台を増やし、予約混雑の緩和を図る。 ⑥以前使用していたものは壊れたが、新たに工作室に1台設置した。</p>	3

5 事業収支

指定管理業務 事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成30年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金		利用料金		歳入	施設使用料		施設使用料			
	指定管理料	61,500,000	指定管理料	61,858,560		行政財産使用料		行政財産使用料			
	自主事業※	538,000	自主事業※	67,905		国庫支出金	1,574,000	国庫支出金	1,574,000		
	雑入	10,000	雑入	0		県支出金	1,574,000	県支出金	1,574,000		
						その他		その他			
	計	62,048,000	計	61,926,465		計	3,148,000	計	3,148,000		
	支出	人件費	48,622,000	人件費		50,242,265	歳出	修繕料		修繕料	
		消耗品費	2,000,000	消耗品費		1,996,777		保険料		保険料	
		光熱水費	3,722,000	光熱水費		3,746,781		指定管理料	61,858,560	指定管理料	61,500,000
		委託料	50,000	委託料		49,248		業務委託料		業務委託料	
		賃借料	900,000	賃借料		858,408		土地・建物賃借料		土地・建物賃借料	
		通信費	219,000	通信費		468,213		その他	142,560	その他	
		保険料	1,239,000	保険料		1,118,533					
		修繕費	600,000	修繕費		68,001					
		事業費(市指定事業)	873,000	事業費(市指定事業)		827,111					
		事業費(自主事業)	538,000	事業費(自主事業)		322,051					
		公租公課	10,000	公租公課		10,000					
		現場管理費	0	現場管理費		0					
		一般管理費(本社経費等)	3,075,000	一般管理費(本社経費等)		2,326,720					
減価償却費		200,000	減価償却費	62,243							
その他		0	その他								
計		62,048,000	計	62,096,351	計	62,001,120		計	61,500,000		
損益		0		△ 169,886	差引	△ 58,853,120			△ 58,352,000		
自主事業収支 (単位:円)		収入	538,000	収入	67,905						
		支出	538,000	支出	322,051						
	損益	0	自主事業損益	△ 254,146							
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】							80.9%			
	事業収支における経営分析		事業収支について、通信費がファミリー・サポート・センターの会員への郵送料で、また、人件費についても退職者の補充などの理由から支出が当初計画より多くなっている。他の項目については、概ね計画どおり運営されており、経営状況については良好といえる。しかし、自主事業については、収支のバランスを考えた事業計画の検討を期待する。								
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由		退職職員の有休消化などによる補充職員を雇用せざるをえなくなり、人件費の増加が一般管理費を圧迫する結果となり、当初計画よりマイナスとなった。								

3

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」、「4」、「5」、「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか	適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか		
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	
	配置実績		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実施されたか	適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		
特記事項			

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも否の場合は「1」、「4」、「5」、「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目	評価	総合評価	子育て支援施設
施設の設置目的の達成	3	C	
指定管理者の健全性	3		
施設の有効活用	3		
利用者評価	3		
事業収支	3		
管理運営全般	3		
危機管理体制	3		
評価理由	<p>・利用者アンケートにより、88.6%の利用者が満足・やや満足・とても楽しかった・楽しかったと答えている。職員の対応については、93.9%の利用者が満足・やや満足・良いと答えており、児童センター事業を多くの方に満足してもらえるように努力し続けていることが伺える。</p> <p>・子どもたちの安全確保のため、児童センター内だけでなく、その建物施設付近を職員が定期的に見回りを行い、施設点検を含め児童の安全確保に努めている。また、閉館時は、最後の児童が帰宅するのを確認するまで建物1階フロアで見送りをしている。</p> <p>・団体で利用する場合の入館手続きについて、時間がかかり煩雑であるとの苦情があったが、市と協議の上、団体利用者については時間がかからない受付方法に変更することで迅速に対応できた。</p> <p>・ファミリー・サポート・センターでは、依頼会員は増加するが、提供会員が伸び悩む状況であったため、自治会へ出向いたり、児童センターの事業の中でPR活動を行うなど、積極的に提供会員の募集活動を独自で行った。</p>		
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	<p>・年2回の利用者アンケートの継続実施と子ども運営委員会での意見、ご要望、気付きなど利用者のニーズを的確に捉え、地域の子も達や子育て世代の居場所・交流の場としてのあり方を認識し安心安全な施設運営に努める。</p> <p>・事業参加対象枠の拡大など充実した事業実施を目指しながら地域の居場所となるよう一層の定着を図っていく。</p> <p>・ファミリー・サポート・センターの提供会員の増加を目指してPR活動を実施する。</p>	<p>・アンケートを定期的実施した他、来館者からの意見を参考に更なるサービス向上に向け、職員間でも話し合い共通認識を持ち運営に努めた。</p> <p>・ファミリー・サポート・センターの提供会員の増員を図るため、児童センター事業の中で保護者へのPR活動を行ったほか自治会へ出向き、活動内容を説明するとともに会員を募集した。</p>	<p>・市内に子育て支援拠点が12カ所あり、利用者が分散したことにより、児童センターで利用者が減少してきていると考えられるが、今後、人気のある事業回数の増加や魅力ある事業を検討し、利用者の増加を目指す。</p> <p>・ファミリー・サポート・センターの提供会員の募集について、市民に活動内容などが分かりやすく説明したパンフレットを作成し、継続して広く募集活動を行っていく。</p>

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- ・0歳～18歳の子ども達と保護者全ての来館者が居心地良く過ごせるように、各児童センターで時間を設定し1日5回の安全管理チェックを実施した。小学生が帰る時間を夕焼けチャイムの時間に設定し、子ども達が安全に帰れるように声掛けや、最後に帰る小学生とともに自転車置き場まで一緒に行き、トラブルがなく帰宅できているか確認を行った。貸出し用玩具は、1日1回玩具の安全確認と数のチェック、偶数日には消毒液での拭き上げを実施し、楽しく安全に遊べる環境を心がけた。ウイルス性疾患の流行がある時は、館内の手すりや大型玩具など1日1回次亜塩素酸系で拭き上げを行い館内感染の予防に努めた。
- ・利用する年齢によって参加できる事業をニーズに合わせて企画。乳幼児事業、小学生事業、全来館者事業と分かりやすく色別し掲示。乳幼児専用の部屋には対象の事業ポスターを掲示すると共に、気軽に持ち帰ることができるようA5用紙で窓口にも設置した。毎月各センターで発行するセンター便りのほか、HP、ブログ(西児)母子モ(アプリ)、子育て情報メール、市報などで必要な情報を提供した。4月には新1年生が児童センターを安心して利用できるように、新1年生向けのお便りを発行し、市を通してふじみ野市内全小学校へ配布を行った。
- ・利用者から以前より要望があがっていた「全来館者対象事業」を充実したことにより、未就学児の事業参加が増加し、事業内での年齢を超えた交流も見られ事業全体の活性化に繋がった。
- ・人気のある事業「親子タイム」「ママの輪」「スマイル」を継続。子育て講座では人間東部地区事務組合救急隊員、消防隊員による「乳幼児への救急法」や市内にこ歯科クリニック「みんなにこにこピカピカの歯」、株式会社ムーンスター「幼児の足にあった靴選び」など外部へ講座の依頼をすることで、子育てに役に立つ専門的な情報を提供できた。また保育付き事業を組み入れることで、保護者が手芸や製作でのリフレッシュと共に、子どもと離れた時間で保護者同士が交流を深めていた。
- ・季節に合わせたイベント「子どもの日(こいのぼり)」「母の日」「父の日」「敬老の日」や毎月替わる工作や自由画で、自分の作品が掲示されることで子ども達の自己肯定感を高め、地域の安心できる居場所作りを目指した。さらに「子ども運営委員会」「祭り実行委員会」へ小学生が自主的に参加するようになり、事業での活発な意見交換や積極的な活動に取り組む姿が見られた。父親向け事業を定期的で開催。父親と子どもで安心して過ごせる場所として定期的に利用する方も多くなってきている。保健センター事業「パパママセミナー」へ協力。セミナー参加の妊婦と配偶者のセンター見学を実施し、出産後の利用へと繋がっている。
- ・ファミリー・サポート・センターの活動は、前年度より447回と伸びている。センター事業での周知や掲示板の充実、地域へ出向いての周知活動を積極的に行った。またファミサポ通信を発行し、講座のお知らせや募集案内とともに会員へ周知を行った。

② 業務の効率化に対する取組

- ・各業務に担当職員を設け、各自が自分の担当を確実に行うことで、効率化を図った。また、職員同士積極的にアドバイスをを行い、相互に高め合えるよう努力した。職員が得意な分野で事業に発揮できるよう定期的に面談を実施し、個人の希望を組み入れることで事業の充実へと繋がった。企画、準備、周知、実施、反省、他職員への報告を担当が中心となって責任を持って実施することで、効率化を図った。
- ・毎朝、運営開始前に朝礼を行い、連絡事項や体制を出勤職員全員で共通理解できるように努めた。事業準備の作業については、担当が作業表を出し他職員が作業に関わることで、事業を理解し周知にも繋がった。事務連絡ノートと宛先ボックスを設け、各職員が休み明け等に必ず目を通し捺印やサインを行った。報告や連絡する意識が高まり、同時に確実な情報共有を行い、業務への効率化を図れた。
- ・在庫管理を月末に行わない、業務がスムーズに進むよう事務室や倉庫の整理整頓を心掛けた。
- ・貸し出し用色鉛筆や鉛筆の再利用、コピー用紙の裏紙の使用、カラー印刷の最小化など経済面の節約に努めることで職員の経済意識を高めた。
- ・窓口での貸し出し、館内での見守りなど、時間を決めたローテーションを行うことで一つの仕事に集中し、責任を持ち進められるようにしている。混雑状況に応じ、適宜判断し館内の安全第一で動けるよう各自が優先順位を考え、仕事を進めている。

③ その他

- ・「児童厚生員研修」「児童館職員研修」積極的に参加し職員の知識の習得に努めた。ファミリー・サポート・センターでは「子育て支援員研修(ファミサポコース)」へ参加し、知識を深めた。多様な利用者に対応していく為、「発達支援サポーター研修」「虐待防止・発達研修」に参加し、職員の知識を深めた。「全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー」へ積極的に参加し、子どもに携わる職員としての知識を深めた。
- ・安全な運営の為に全職員が「普通救命救急Ⅰ」に参加。様々な想定で毎月避難訓練を実施。地震、火災、不審者、怪我に加え、感染症の訓練も実施。利用者を巻き込み非常階段、すべり台を使用した避難訓練も実施し、利用者とともに災害時の動きについて再確認を行った。「フクピア消防設備等自主点検表(東児童センター)」「自主検査チェック表(西児童センター)」の提出。フクピア館内合同「自衛消防訓練」へ2回参加、大井総合支所の合同避難訓練に参加し連携を行っている。
- ・「ふじみ野市子育て支援拠点連絡会議」へ継続参加。市内の子ども子育て支援拠点と連携し、より一層の支援充実に向けている。「出前子育てサロン」へ年3回参加。
- ・埼玉県児童館連絡協議会の役員会へ東西共に定期的に参加した。
- ・二市一町によるファミリーサポートセンター事業担当者会議へ参加。二市一町が連携をとることで会員が活動しやすい環境作りを提供できた。
- ・その他にも交流プラザ等との連絡を日頃から心がけ、安全対策等の連携を図っている。
- ・大井総合支所の3カ月に1回の支所長会議に毎回必ず参加し、支所・保健センター・館内喫茶店との情報の共有に努めている。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・東児童センターでは雨が降ると遊戯室の雨漏りが頻繁である。何度も修繕し確認も万全であるが、特に強風時の雨漏りがみられる。卓球台のうしろにあることで、雨漏りのある時は1台を使用なしで運営している。プレイヤーコートにおいては気温の高い時期は熱中症予防の為使用をひかえることとなった。2ヶ所に温度計を設置、毎日五行う安全チェックで温度確認をしているが、毎年7月上旬から9月中旬ごろまで、温度計2ヶ所の平均35℃以上となる事が多くプレイヤーコートの使用ができなかった。
- ・西児童センターでは、公民館、ゆめぼるとイベントが行われることで駐車場や駐輪場が足りず、事業参加予定の保護者が遅れてしまう、駐輪場が乱雑になる等の声が上がった。駐車場には限りがあるという注意喚起を引き続き実施。駐輪場は点検の度に整備を実施。
- ・築年数の経過によりところどころに老朽化がみられる。優先順位を考慮して修繕の予定を立て実施していく。

(3) 次年度以降の取組

- ・【東児童センター】平成30年度は利用者数59,556人。月平均4,963人。平成31年度は月平均5,052人、利用者数60,628人を目標とする。
- ・【西児童センター】平成30年度は利用者数72,025人。月平均6,002人。平成31年度は月平均6,116人、利用者数73,400人を目標とする。
- ・年2回の利用者アンケートを継続実施し、利用者のニーズを把握し、地域の子ども達や子育て世代の居場所・交流の場として、より一層の定着を図っていく。
- ・アンケートや子ども運営委員会が挙げた、長期休みに学習ができる部屋の確保について検討し夏休みに開館から1時間工作室を学習の部屋に設定し、小学生以上が家庭学習や宿題が出来る場の提供を検討していく。
- ・公共交通機関や市内循環バスふじみん号の利用が多くなっている。館内にふじみん号の時刻表とルートの掲示や路線バスの情報掲示を充実させ利用しやすい環境を整えていく。